



OrCAD Engineering Data Management (EDM)

OrCAD ワークグループ向け設計データ管理

OrCAD® Engineering Data Management (EDM) は、OrCAD Capture PCB回路設計ソリューション用の包括的な協調設計と設計データの管理環境です。OrCAD Capture 環境に完全に統合された OrCAD EDM により、エンジニアリング設計チームは、効率的な設計データ管理から得られた早期市場投入利益の利点を受けることができます。このソリューションは、複数のユーザー間での設計ファイルの管理に関する課題も解決します。

概要

協調設計作業環境は、設計の再利用やベスト・プラクティスを促進し、さらに重要な点として、設計プロセス全体でエラーを排除し、すべての関係者を同じページで管理することで開発期間を短縮します。しかし、協調設計作業にはさまざまな課題もあります。複数のプロジェクトにまたがる更新やステータスを追跡し、いつどこで誰が何を変更したかを判断しようとする、複雑に絡み合った電子メールのスレッドや分散した会議メモを生むことになり、混乱、誤解、間違いにつながりかねません。

複数の技術者が同じファイルにアクセスし、編集したりコメントを加えたりし始めるとデータの整合性も大きな問題になってきます。ファイルを誤って上書きしたり、誰が何を変更しているかを連絡せずにユーザーがローカルに複数の別のバージョンのファイルを管理し始めたりして、その後のプロセスでのさらなる間違いや予測できない設計変更につながります。

OrCAD EDM は、充実した機能により回路設計プロセス全体を通してデータの整合性やプロジェクトのステータスを管理できます。使いやすく、直観的なインターフェイスと、強固なデータ管理機能で、技術者の効率的なグループ作業を可能にし、データの整合性を常に確実に維持します。

要旨

- 市場投入までの時間を大幅に短縮し、並行する複数のプロジェクトの管理に関するリスクを低減する統合的なプロジェクト・ダッシュボードを搭載
- 設計プロセスの固有情報として、完全に追跡可能な変更履歴を構築し、間違いや作業の重複を排除
- 現在と過去の設計プロジェクトにアクセスし、分離制御して表示することにより、IP の再利用を促進

主な機能

プロジェクト・ダッシュボード

OrCAD EDM は、チーム、またはより大きな組織内で進行しているすべてのプロジェクトに対して強力なダッシュボードを提供します。ユーザーは、どのプロジェクトが作業中で、誰が作業しているかをすべて OrCAD Capture のキャンバス内で参照できます。OrCAD EDM で常に簡単に最新状態を把握でき、コスト増につながるミス・コミュニケーションを排除できます。

リアルタイムの追跡とコミュニケーション

全ページのダウンロード、更新、名前変更をタグ付けて格納することで、誰が何をなぜ変更したのかを設計チーム内で可視化。管理者、ユーザー、その他の関係者は、プロジェクトのステータスのリアルタイムのスナップショットをいつでも取得できます。

バージョン履歴

OrCAD EDM は、ページ・レベル、プロジェクト・レベルでアップロードされた変更ごとの完全なバージョン履歴を維持します。以前のバージョンは、OrCAD EDM のプロジェクト・ツリーに格納され、簡単にアクセスできます。完全なバージョン履歴を維持することで、以前のバージョンへのロールバックや変更比較が必要なときに簡単に実現できます。

リリース管理

OrCAD EDM は、進行中作業の強力な管理機能のほかに完成状態に達した設計をフリーズする仕組みも提供します。この場合、以降、設計は単一のファイルとして維持され、変更や更新が確実にプロジェクト全体に対して行われるようにします。

プロジェクト調整

OrCAD EDM は、回路ページやプロジェクトを閲覧、管理、技術者に割り当てる集中管理パネルを提供します。プロジェクト・リーダーは、個々のページ・レベルでコンテンツを割り当てられます。また、機能セクションに基づいて割り当てることもでき、この場合、ユーザーは必要に応じてページを追加できます。すべての変更や更新は、OrCAD Capture 内に直接統合された OrCAD EDM の直観的に使えるインターフェイスから追跡、管理できます。

ページ・ロック

OrCAD EDM は、ページに特定のユーザーアクセス権限を割り当てられるだけでなく、現在ユーザーが編集しているページを自動的にロックします。他のユーザーは引き続きそのページに読み取り専用モードでアクセスでき、これによりデータの整合性が維持されます。ユーザーがページをチェックインして返すと、ロックは解除され、他のユーザーがページの最新版にアクセスして編集できます。プロジェクト管理者は、ユーザーがページのチェックインを忘れた場合など、いつでもページを強制的にロック解除できます。

ライブラリ管理

OrCAD EDM は、プロジェクトや回路ページの変更を追跡できるだけでなく、OrCAD Capture ライブラリ内の個々の回路図シンボルも編集し追跡できます。これにより、設計チームは、簡単、かつ確実に設計内で最新のシンボルを使用できます。

IP 再利用の簡易化

OrCAD EDM では、アクティブなもの、アーカイブ化されたものを問わず、すべてのプロジェクトを格納するため、過去の設計の IP を簡単に検索し、現在のプロジェクトで再利用できます。OrCAD EDM 内のファイルは完全に管理されており、技術者は確信を持って IP を選定し、テスト済み、承認済みの設計要素を再利用できます。

最新の製品やリリースの情報については、www.innotech.co.jp/orcad サイトをご覧ください。こちら (orcad@innotech.co.jp) お問い合わせください。



イノテック株式会社

本社 / 〒222-8580 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-17-6
ICソリューション本部 OrCAD推進室
TEL.(045)474-3410 FAX.(045)474-2395
URL <http://www.innotech.co.jp/orcad>

©2016 Cadence Design Systems, Inc. All rights reserved worldwide. Cadence、Cadenceロゴ、OrCADおよびOrCADロゴはCadence Design Systems, Inc.の米国またはその他の国における商標または登録商標です。その他記載されている製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

* 掲載の内容は、2016年4月現在のものです。